

群馬リハビリテーション病院



真ごころ

m a g o k o r o

11

季刊

2019

公益社団法人 群馬県医師会 群馬リハビリテーション病院

— 特集 —

人は作業を通して
健康や幸福になる



新年御挨拶

新年明けましておめでとうございます。

今年は平成最後の年です。

小渕恵三元首相(当時官房長官)が「平成」を発表してから30年。

医療界もめまぐるしく変遷する中、当院も時代に取り残されないように全職員が努力を重ね、回復期リハビリテーション病院としての地位を築いてきました。

お陰様で、県内外各地よりお問い合わせや視察をいただいております。

新たな幕開けを迎えますが、当院も更なる進化を目指して精進していきます。

苦しいことも多いかも知れませんが職員一丸となって乗り越え、輝かしい1年にしていきたいと思ひます。

本年も、地域の皆様の一層のご指導・ご鞭撻をどうぞ宜しくお願い致します。



群馬リハビリテーション病院 病院長
眞塩 清



基本理念

明日をめざして

リハビリテーションを一人ひとりに

基本方針(三位一体)

まごころ



- 患者さん本位の「まごころ」ある良質な医療を提供する。
- 患者さん本位の「思いを込めて」ケアを実践する。
- 患者さん本位の「癒し」の施設を追及する。

ふれあい



- 地域活動にも積極的に参加し、地域住民との「ふれあい」を大切にする。
- 「良質な温泉」「緑豊かな自然」との調和をめざし、自然環境を大切にする。
- あいさつは明るく笑顔でまずわたしから。

おもいやり



- 職員同士お互いを「おもいやり」、情報の共有化を図る。
- 相手の立場を理解し、常に次の人のことを考える。
- 安全で明るく働きがいのある職場を確保する。

回復期リハビリテーション病棟 診療実績

(平成30年 4月～9月)

在宅復帰率	84.3%	重症患者受入率	44.3%
平均病床利用率	86.0%	重症患者改善率	55.8%
平均在院日数	94.7日	1日あたりの平均リハビリ提供単位数	7.5単位
疾患別割合(脳血管疾患等66.5%、運動器24.0%、廃用症候群9.5%)		休日における平均リハビリ提供単位数	7.9単位

平成30年度入院統計

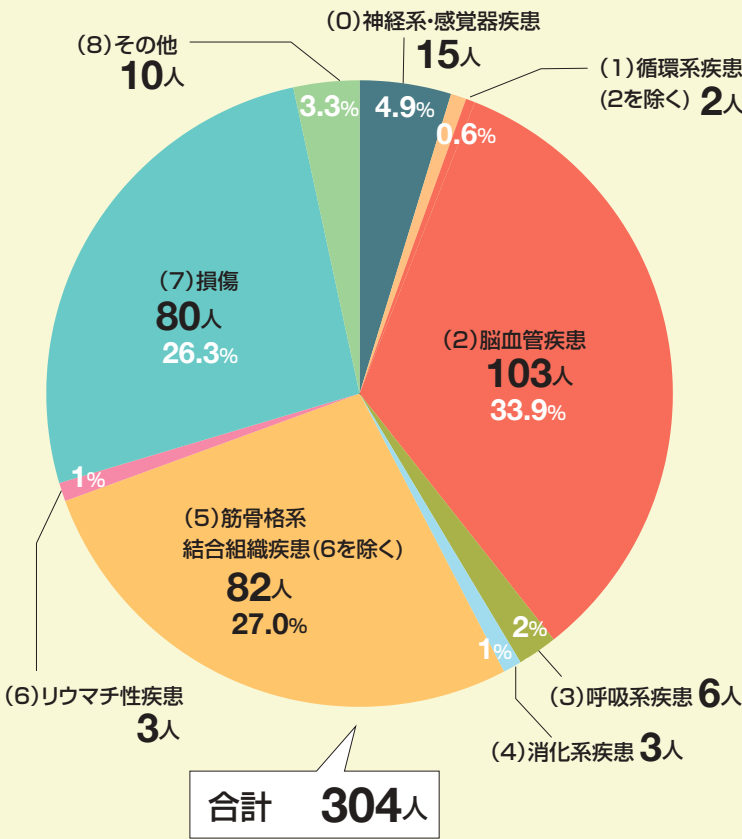
【地区別入院患者数】

郡市名	計	%
前 橋	30	9.9
高 崎	30	9.9
桐 生	5	1.6
伊勢崎	5	1.6
太 田	5	1.6
沼 田	11	3.6
館 林	0	0.0
渋 川	35	11.6
藤 岡	1	0.3
富 岡	5	1.6
安 中	8	2.6
みどり	2	0.7
佐 波	0	0.0
北群馬	5	1.6
多 野	0	0.0
甘 楽	3	1.0
吾 妻	131	43.1
利 根	7	2.3
邑 楽	3	1.0
県 外	18	6.0
合 計	304	100

【県外別入院患者数】

都県名	計	%
東 京	2	11.0
埼 玉	13	72.2
栃 木	0	0
神奈川	0	0
千 葉	1	5.6
茨 城	1	5.6
その他	1	5.6
合 計	18	100

【病類別入院患者数】



【性別・年齢別入院患者数】

年 齢 層	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	(人)	
10才～19才	計(0)													0	0%
20才～29才	男(6) 女(1) 計(7)													7	2.3%
30才～39才	男(8) 女(0) 計(8)													8	2.6%
40才～49才	男(6) 女(2) 計(8)													8	2.6%
50才～59才	男(26) 女(12) 計(38)													38	12.5%
60才～69才	男(29) 女(26) 計(55)													55	18.1%
70才～79才	男(38) 女(30) 計(68)													68	22.4%
80才以上	男(55) 女(65) 計(120)													120	39.5%
合 計	男 168人 女 136人 計 304人													304	100.00%



「人は作業を通して健康や幸福になる」

作業療法(OT:Occupational Therapy)は、体に障害ある方、こころに障害がある方、発達に障害のある方、高齢期の方など、日々の生活ができずに困っている方々に対して、「作業」を通して健康と幸福を促進するために行われる、治療、指導、援助の事を言います。「作業」には、食事や入浴などの身のまわり動作、炊事や洗濯などの家事、仕事、趣味や遊び、対人交流、休養などの日々の生活を行う活動とそれを行うために必要な、こころと体の活動が含まれます。作業療法士は、「人は作業を通して健康や幸福になる」という基本理念と学術的根拠を基に、「作業」を心身機能の回復、維持、あるいは低下を予防するための手段として利用または、その作業自体を練習し、対象の方が「できるようになりたい」「できる必要がある」を、「できるようにする」ために利用する専門家です。

当院の作業療法

当院には47名の作業療法士が在籍しています。全国的には、作業療法士の男女比は3:7ですが、当院では、5:5と男性の割合が多くなっています。平均年齢は30.2歳。平均経験年数は8.2年です。



ひとりひとり異なる生き立ちや文化、環境を考慮し、早期の家庭復帰や社会での役割の獲得、楽しみ活動の獲得に向けて支援しています。必要に応じて、退院の前にご自宅を訪問し、動作の指導や住宅改修の提案、福祉機器等アドバイスも行っています。平成29年度のリハビリテーション部全体としての退院前訪問は、98件ありました。右の表は、その内、作業療法士が実際に退院前訪問した数です。群馬県全域に42件訪問しています。作業療法は、支援している幅が広く、当院で行なっている作業療法の全部はお伝えできませんが、今回は、その中でロボットリハなどの幾つかの実践をご紹介します。

平成29年度 退院前訪問実績

訪問先	件数	訪問先	件数
中之条町	8	前橋市	3
東吾妻町	8	沼田市	3
上記以外の吾妻郡	7	北群馬郡	3
高崎市	5	伊勢崎市	1
渋川市	4		
計42件			

当院の設備等

- ADL(Activities of Daily Living:日常生活活動)関連設備
畳敷きの和室、模擬的練習ができる風呂、天井走行用リフト等
- 家事関連設備
昇降式流し台を備えたキッチン、洗濯機、掃除機、ミシン等
- ドライブシミュレーター ●手芸用品・ゲーム類
- 福祉機器、自助具類各種 ●上肢訓練用機器 等



作業療法の実践の例

「やりたい!」を実現に向かって支援します。

「ひとりで食べることができるようになりたい」

食事は楽しい活動であり生きていくために必要な行為でもあります。作業療法では、ひとりでできる方法を考え、支援します。写真は、太柄にしたスプーン(自助具)と腕を上げることを補助する機器(ポータブルスプリングバランサー)を使用しています。



「大好きな風呂に入りたい」

家庭での浴槽を模した訓練用浴槽での出入り、しゃがみ込み等の練習を行います。必要に応じて、入浴用の椅子など福祉機器を使用するなど、ご家族様や担当ケアマネージャー等へご提案もさせていただきます。当院の温泉施設利用のための評価も行っています。



「ひとり暮らしだから料理を作らなきゃ。でも、右手(利き手)が動かないので…」

料理教室では無いので、料理そのものを教えるのでは無いですが、片手での皮のむき方や具材の炒め方、煮方、盛りつけ方など指導しています。また、復職に向けて、チャーハンと餃子作りを同時に行ったり、うどん作りなども実施しています。



「通勤に車を使いたい」

仕事に復帰する時、通勤手段の再獲得も重要になります。群馬県は、自動車がその大半を占めています。そのため、自動車運転再開に向けて助言等を行っています。また、必要に応じ、ドライブシミュレータ(HONDAセーフティナビ)による、評価、練習も行っています。※ぐんま自動車運転リハビリテーション研究会に所属し、自動車運転再開に向けて情報共有、研鑽を行っています。



「趣味の花植がしたい」

当院には、園芸ができるベランダが有り、趣味や生きがいとして園芸活動を行っています。また、土地柄、土に触れることが好きな方が多く、活動中は、自然と笑顔が見られます。

「やりたい」ことが「できる」になるためのこころと体の機能改善

「ReoGo[®]-J(上肢用ロボット型運動訓練装置)」 帝人ファーマ製

脳血管疾患等により麻痺を呈した上肢の機能改善が期待できる、上肢用ロボット型運動訓練装置です。機器導入は、全国で2番目と早く、当院では、脳血管疾患等の患者さん以外にも肩腱板断裂の治療などにも使用しています。



「IVES[®](随意運動介助型電気刺激)」 オージー技研製

IVES(Integrated Volitional controlled Electrical Stimulation)は自ら筋肉を動かそうとした時に筋肉の活動を電極で感知し、動かそうとした強さに応じて随意的な運動を電気刺激で介助するものです。これにより、上肢の機能改善が見込めます。



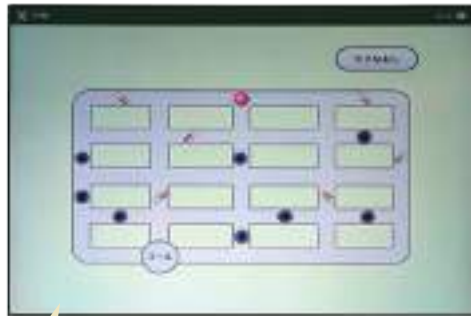
高次脳機能障害に対するリハビリについて

高次脳機能障害とは、学術用語としては、脳損傷に起因する認知障害全般を指し、の中にはいわゆる巣症状としての失語・失行・失認のほか記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害などが含まれます。（国立障害者リハビリテーションセンターホームページより）当院では、それらを要因とした、日常生活及び社会生活への適応に困難を有する患者へリハビリを実施しています。

今回は、高次脳機能障害の中でも、記憶障害、注意障害、遂行機能障害への患者へのアプローチとして使用しているiPadの利用状況について報告します。

当院では、リハビリにおいてiPadを利用した訓練を実施しています。脳損傷によって、注意が色々な方向にそれてしまう人や、集中が続きにくい人、思考に時間がかかってしまう人、頭を使うとつかれてしまう人などに使用しています。

実際に実施する内容は、迷路課題や間違い探しや計算問題などです。（写真参照）



【迷路】
赤い丸を落とし穴に落とさず、なるべく多くのカプセルを取りゴールまで移動させるゲーム。



【双子探し（金魚）】
たくさんいる金魚の中から同じ絵柄同士を探し出すゲーム。

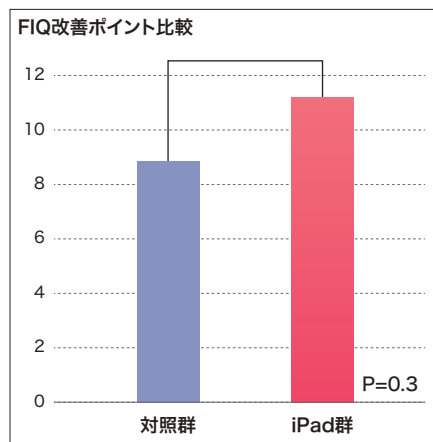
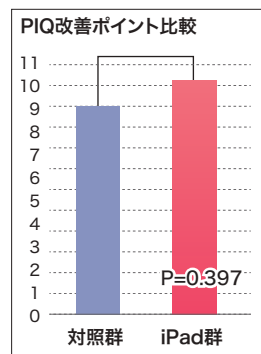
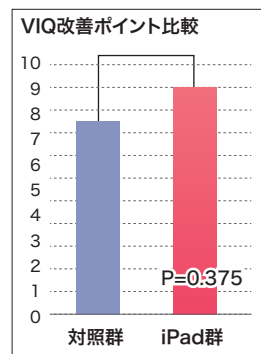
利用にはルールを決めてゲーム感覚のみにならない様に注意しながら訓練機器として活用しています。

もちろん、高次脳機能障害に対し、iPad以外のリハビリもしっかり実施しています。iPadを使用するのは訓練の中の一部ですが、脳の損傷患者さんには、色々な刺激が入っていく事で、脳の活性化につながっています。

結果（WAIS-Ⅲ IQの比較）

当院で、iPadを訓練で使用した患者と、iPad導入前の患者とでの、WAIS-Ⅲ知能検査の改善率について調べてみたところ、2つの群の改善率には差が無いことがわかり、iPadを利用した訓練も脳の回復を助けていることがわかりました。

（表 参照：2017年高次脳機能障害学術大会発表資料より）



※P値はマン・ホイットニウ検定で算出

おわりに

高次脳機能障害者へのリハビリは『オーダーメイド』となる事がほとんどです。症状も重症度も患者さんごとに違います。そのため、当院では1人1人の患者さんに適切なリハビリを提供できる様に日々努力を続けています。

医療機関情報（関東信越厚生局長への届出に関する事項）

基本診療料

- 回復期リハビリテーション病棟入院料2
- 療養病棟入院料2
- 療養病棟療養環境加算1
- 感染防止対策加算2
- 体制強化加算1
- 認知症ケア加算1
- 入退院支援加算1

特掲診療料

- 薬剤管理指導料
- 脳血管疾患等リハビリテーション料（1）
- 運動器リハビリテーション料（1）

回復期リハビリテーション病棟 対象患者区分表

	疾 患	発症から入院まで
1	①脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後もしくは手術後、または義肢装着訓練を要する状態 ②高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の脊髄損傷者および頭部外傷を含む多部位外傷	2ヶ月以内に入院が必要 【算定期間】 1－①…150日 1－②…180日
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折、または二肢以上の多発骨折の発症後または手術後	2ヶ月以内に入院が必要 【算定期間】90日
3	外科手術または肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後	2ヶ月以内に入院が必要 【算定期間】90日
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節または膝関節の神経、筋または靱帯損傷後	1ヶ月以内に入院が必要 【算定期間】60日
5	股関節または膝関節の置換術後の状態	1ヶ月以内に入院が必要 【算定期間】90日

※但し、算定開始日数控除対象入院料等を算定する患者に対して、一日6単位以上のリハビリが提供された場合には、その日数をこの2ヶ月（上記1～3）、または1ヶ月（上記4～5）の期間から30日を限度として控除できます。

ちなみに、算定開始日数控除対象入院料等を算定している患者とは、以下の通りです。

- 一般病棟入院基本料
- 特定機能病院入院基本料
- 専門病院入院基本料
- 総合入院体制加算
- 救命救急入院料
- 特定集中治療室管理料
- ハイケアユニット入院医療管理料
- 脳卒中ケアユニット入院医療管理料

患者さんの権利と義務

当院では次の事項を旨とし、患者さんと医療従事者が手を結び合い、より良い医療の実現を目指します。

【権 利】

- 平等かつ最善な医療を受ける権利があります。
- 自らの状況について十分な情報を得る権利があります。
- 自らの意志に基づいて医療行為を選択する権利があります。
- プライバシー尊重の権利があります。
- セカンドオピニオンを要求する権利があります。

【義 務】

- 医療提供者に正確な情報を伝える義務があります。
- 自らの状況について納得いくまで質問する義務があります。
- 出来る限り自らの意向を正確に伝える義務があります。
- 他の患者さんへの医療に支障がないよう配慮する義務があります。

公益社団法人 群馬県医師会 群馬リハビリテーション病院

12月2日(日) 今年は2チーム参加しました!

『第7回中之条まちなか5時間リレーマラソン』に、当院の精鋭2チームが参加しました。

師走の中之条まちなかを、
新調したユニホームを身
にまとい、5時間のたすき
リレーはとても頼もしく感
じられました。
このパワーは、きっと明日
からの患者さんのための
業務へとつながると信じ
ています!



群馬リハビリテーション病院 診療案内

お問い合わせ TEL.0279-66-2121

※変更になる場合がございますので、随時お問い合わせください。

H30.4/1~

		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
内科	午前	西 勝久	林 信太郎	矢島 賢司	西 勝久	神経内科 長嶋 和明	第2のみ 第1・3・4・5 休診
	午後	休診	休診	休診	休診	休診	休診
整形外科	午前	西野目 昌宏	佐々木 毅志	眞塩 清	神山 愛沙香	休診	第2のみ 第1・3・4・5 休診
	午後 (15:00~)	休診	休診	休診	リウマチ科 [第1・3]坂根 [第2・4・5]米本	休診	休診

外来診療受付時間
9:00~11:30

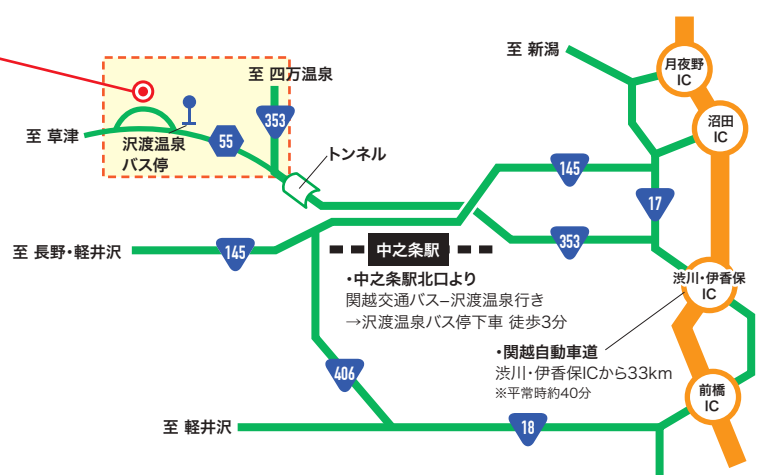
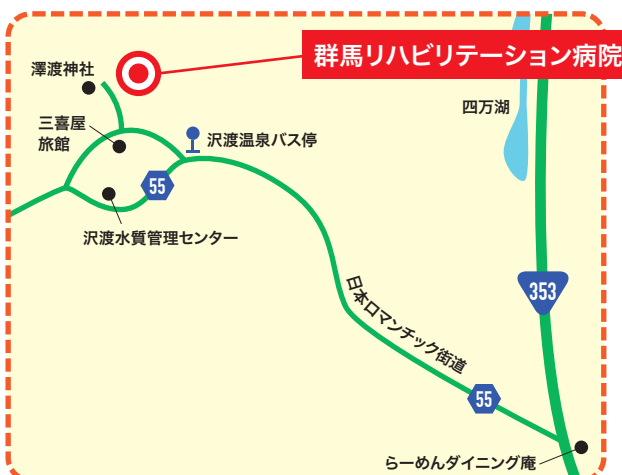
診療時間
9:30~12:00

休診日
日曜・祝日・年末年始(外来リハビリもお休みです)

リウマチ科 毎週 木曜日 15:00~

神経内科 毎週 金曜日 長嶋医師は内科の診療も行なっております。

※保険証は、毎月必ずご提出ください。 ※担当医は、変更になることがあります。



リハビリテーション科、内科、整形外科、神経内科、リウマチ科

群馬リハビリテーション病院

〒377-0541 群馬県吾妻郡中之条町大字上沢渡2136

TEL.0279-66-2121 FAX.0279-66-2900

<https://reha.gunma.jp>

群馬リハビリテーション病院

検索